

戦 評

大会名 第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

男子決勝

会場名： 一関市総合体育館

主 審： 紺野 美穂

副 審： 小野寺 太

試合結果

一関修紅 3 $\left\{ \begin{array}{l} 20 - 25 \\ 25 - 19 \\ 25 - 21 \\ 25 - 20 \\ - \end{array} \right\}$ 1 不来方

戦 評 試合時間 1時間 40分

5年連続の出場を目指す不来方と初の選手権全国大会を目指す一関修紅の決勝戦。

両チーム共に一步も譲らない試合展開で始まった第1セット、不来方4番石ヶ森のスパイクなどで一步抜け出しこのセットを取ると、逆に第2、3、4セット修紅は、4番笹川のサーブで不来方の攻撃の流れを崩し、自分たちのペースを掴むと、3番千葉、5番西村、6番浜田のスパイクが決まり始め順調に得点を重ねる。対して不来方は1番藤田の攻撃で反撃するがなかなか追いつけず、総合力に勝る一関修紅が逆転で3セット連取し初の全国大会出場を果たした。

初出場ではあるが、全国での活躍を期待したい。

7～10行にまとめること。

戦 評 者： 藤原 和紀

岩手県バレーボール協会